



27年度明るい選挙啓発ポスター・標語の入選作品が決定しました

千葉県選挙管理委員会・千葉県明るい選挙推進協議会主催の「27年度明るい選挙啓発ポスター・標語入選作品」が決定しました。入選作品は、下記のとおりです。



▲石川正良さんの作品

●ポスター入選作【一般の部最優秀】 石川正良

●標語入選作【小学校の部】 佳作 萱田小学校 和田葉奈 「十八才 目指せ選挙の 皆勤賞」【中学校の部】 優良 大和田中学校 玄角有紗 「演説を 直接聞いて考えて 自分で決める代表者」【一般の部】 優秀 菅谷澄子 「18歳 政治参加は 投票から」 (選挙管理委員会事務局)

MOA美術館全国児童作品展で銀賞を受賞

「MOA美術館全国児童作品展」は、子どもたちの豊かな感性を育てることを目的に、世界各国の応募作品の中から、28人の審査員により選ばれた絵画や書写を展示しています。1月31日、入賞者の表彰式が、静岡県熱海市のMOA美術館で行われました。12か国、30万2,736点の応募の中から、本市の八千代台西小学校6年の山崎音愛さんが描いた絵画「おばあちゃんがやさしく育てている植物たち」が、銀賞に選ばれました。



▲表彰された山崎音愛さん



▲銀賞に輝いた作品

た。音愛さんは「おばあちゃんが植物を大切にしているところが表現できてよかった」と、うれしそうでした。

八千代の鍋 惜しくも準優勝

1月31日、「ニッポン全国鍋グランプリ2016」が埼玉県和光市で開催されました。60チームの鍋と14万人の来場者で会場は大盛況でした。今年で5回目の出場となる街づくり市民の会は、昨年に続き優勝を狙いましたが、惜しくも準優勝でした。「この鍋を楽しみにしている多くの人のために、今後も出場したい」と同会会長の太田博さんは話していました。当大会で上位3位入賞鍋は、2020年の東京オリンピック会場で開催される「鍋のグランドチャンピオン大会」への出場が予定されています。



▲もちぶた炙りチャーシューバージョンとん汁で準優勝

野菜たっぷりメニューコンテスト

栄養バランス賞

アリスハウス
「たっぷりみぞれの揚げナスそば」

【受賞のポイント】 日本そばでは珍しく、野菜たっぷりで彩りもきれいな、栄養バランスのとれたメニュー。

【メニュー提供期間】 通年

【店舗情報】 ▶所在地 上高野450 (セントマーガレット病院内) ▶電話番号 ☎485-5111
▶営業時間 午前9時15分～午後4時 ▶駐車場 あり (有料) ▶休業日 日曜日・祝日・年末年始

女性起業家が初心者の悩みに応えました

働く女性の活躍の支援を目的に、1月31日、女性起業家たちを対象にした「起業一年目からのステップアッププラン～あなたの悩み解消します～」が、男女共同参画センターで開催されました。

八千代市出身の雑貨ジャーナリスト、マツドアケミさんなど4人の起業家が、参加者が書いた「自己診断カルテ」をもとに、それぞれの職種や起業スタイルの中での経験談を話しました。

商品のPRに関する参加者からの質問には「SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) を駆使することが大切。ツイッター、フェイスブック、ライン、インスタグラムなど、それぞれの特徴を生



▲左から起業家のマツドアケミさん、福島もみさん、武田美保さん、石井祐子さん

かしましょう」とアドバイス。社会保険労務士・大味実枝子さんによる「知っておきたいお金の話」、マイナンバーについての講義もありました。

リサイクル・ガイド

消費生活センター☎485-0559

●この欄のお問い合わせは、消費生活センターへ。
受け付けは土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分から午後5時まで (午後4時～5時は☎483-1151へ)。

市内在住の人が対象です。交渉は当事者間で行い、結果は必ず同センターに報告してください。企業・営利団体は利用できません。

【あげます】 ▶人形ケース/高さ59cm×幅44cm×奥行38cm ▶介護用トイレ/レザー張り/手すり付
▶座椅子/2脚

【ゆずって・有料】 ▶パソコンとプリンター

やちよ俳壇 519回 小林希世子選

冬至粥厨に妻の唄ふ声 勝田台 三橋昇
児の頬に日の輝きて青木の実 勝田台 廣鹿一平
白息や連れ立つ夫の老初めて 勝田台 芳賀博子
寒の水注ぎ日向へ鉢移す 勝田台 大井友子
武蔵野の人影まばら寒桜 八千代台北 小川育代
冬耕のエンジンの音餅せり 米本 千本松久代
冬の月仰ぎ一日のまた過ぎぬ 下市場 月成協子
着ぶくれて一人笑ひのひとり言 勝田台 市原美恵
舞初や靴を掛けし背を正す 勝田台 沼本嘉幸
もうもうと煮物の湯気や小正月 大和田新田 松本真佐
遠き人思ひ出したる余寒かな 八千代台南 豊永純子
枯柳そよぎて枝の相触れず 八千代台北 大島宏
蒼天や健脚仲間と福詣 八千代台西 渡辺和子
病む母の白髪を梳く二日かな 八千代台東 小山寿美子

ご挨拶

44年前、第一回市民文化祭俳句大会の呼び掛けに応募した人達から、八千代市の俳句活動を広げよう、との声が上ががり、広報の紙面に「やちよ俳壇」が設けられました。又、公民館のサークル活動により俳句のレベルは急速に向上し、平成11年のNHK全国俳句大会で二名が特選に輝き、以降大会賞、特選、秀作等の受賞者が輩出しました。文化祭も44回を数え、俳壇は500回を超えた事で、当初の目的は達成されたとして連盟の活動及び本欄の「卒業」を決定致しました。

「やちよ俳壇」の充実には偏に広報紙と言う場を与えられた事にあり、長年に亘るご支援に対して深く感謝申し上げます。

八千代市俳句連盟会長 小林 希世子

「やちよ俳壇」は多くの作句者や読者の皆様に支えられ、市民文化の発展や生涯学習の推進など重要な役割を担って来ると共に、その時代の四季折々を綴ってまいりましたが、今号で終了することとなりました。

本欄開設の昭和48年から、ご協力を賜った八千代市俳句連盟の皆様には、感謝を申し上げます。会長である小林希世子様には、昭和63年から28年にもわたり、長い間選者を務めていただき、誠にありがとうございました。重ねて御礼申し上げます。

八千代市長 秋葉 就一